



# みどりの風

公益財団法人  
 奈良市生涯学習財団 月ヶ瀬公民館  
 奈良市月ヶ瀬尾山 2815 番地  
 TEL&FAX 0743-92-0346  
 発行人 館長 上田 善紀  
 発行日 平成28年8月9日(火) 第4号

「こんな事業をしました」

く茶芽のテイクアウト

竹細工と流しそめん

「お腹いっぱい、もう入りません」

もう入りません



## そうめん流し大会

茶芽のテイクアウトの2回目となった7月16日(土)、そうめん流しを楽しみました。まずは、徳家眞さんの手ほどきのもと、自分が使う竹のカップとおはしをサンドペーパーでみがきました。



↑「できあがったカップとおはしです。」

南 大和さんと 東谷 桜大さん

■東谷 桜大(おうえい)くん(3年)：前からずっと楽しみにしていた。楽しかったから家でもやってみよう。工夫して作業したからきれいにみげたよ。

■畑家 快翔(かいと)くん(5年)：徳家さんがいろんな準備をしてくれたおかげで楽しい時間だった。

## みんな、なかよく



↑ いちばん下流だけど、いっぱい流れてくるよ、とニコニコする 尾上 崇和さん



↑ 次はボクの番だ！ →(左から) 井岡 悠人くん、大谷 綾乃さん、小西 捷斗くん、西浦 爽さん

「みんなとはしゃぎながら食べたからおいしかったよ」

■相和 巧雅(こうが)くん(4年)：そうめんを取りのがしたり取れたり、それがとても楽しかった。

■尾上 崇和(しげや)くん(5年)：いちばん下流で待っていたけど、意外にたくさん流れてきた。みんな、取り残しがいっぱいあったんだ。

■西脇 春菜(はるな)さん(5年)：おいしいそうめんだった。もうお腹に入りません。

■西原 乃愛(のあ)さん(5年)：みんなとはしゃぎながら食べたことが、とても楽しかった。



↑ 仲良く向かい合って… 東谷 桜大さん、相和 巧雅さん

第3回目の企画は、9月7日(水)、「パルーンアート」を楽しみます。

## 月ヶ瀬薫風

夏の高校野球が開幕しました。第4日目に登場する星稜(石川)は、月ヶ瀬出身、稲置繁男氏なんです。私所属するサッカークラブでは、毎年7月15(中3)が石川遠征しており、そこで星稜高校の1年チームと試合をさせていただきます。

先日のインターハイでもサッカー部が出場しているスポーツの名門高です。他方、進学校でもあります。夏季講習のためか、多くの生徒が学舎内を行き来していました。梅やお茶とともに、多士済々の人材もまた、月ヶ瀬の魅力ですね。

### 追悼

8月5日(金)に急逝された前館長・上西千秋氏に對しまして謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

こんな事業をしました

まるまる一日デイキャンプ

In 柳生



東部5館が共催した子ども向け事業で、今回は柳生地区で実施しました。8月5日(金)、月ヶ瀬から8人が参加、正木坂道場で剣道体験をしたり川遊びを楽しんだり…。キャンプファイヤーでも他地区の新しい友だちと交流し合い、なごやかな一日を過ごしました。



■久保田 琳平(のんべい)くん(3年) : 川遊びが楽しかった。知らない子にも水でっぽいで遊んだよ。  
■畑家 悠真(ゆうま)くん(3年) : キャンプファイヤーは初めてじゃなかったけど、初めてのゲームばかりで楽しかったあ。  
■久保田 清丸(きよまる)くん(5年) : よその小学校のみんなとご飯を食べたことが楽しかった。仲良しが3人はできたかな。



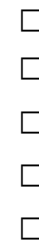
正木坂道場付近で記念写真

こんな事業をしました

おはなし会 一なつ



7月30日(土)、〈たつこ〉の皆さんによる第2回「おはなし会」を開きました。まずは、上方落語でも有名な「皿屋敷」のお話を紙芝居で語り聞かせていただきました。集まった子どもたちは、おもしろいオチに大喜びでした。また、写真集を使って、子どもたちにロマンを感じさせる星と宇宙の話をしていただきました。



「さらやしきのおきく」を  
おもしろく語る 西原 勝代さん



「大西さんも宇宙ステーションに…」  
と語りかける 辻井 君代さん

月ヶ瀬小・中学生のみなさんへ

書く力を育てよう(2)

自分で考えて行動できる力

「自分で考え、しっかりと行動できる人(三井物産・旭化成)」、「自分で考え行動する個性豊かな人材(東京海上)」、「指示を待つことなく、自分から何かを創り出している人(日本IBM)」、「自分自身で常に高い意欲をもち、自ら仕事を創出し、その仕事に対して問題発見型の思考特性で考え判断できる自律型人材(資生堂)」…各有名企業がHPで示している採用方針です。「自分で考えて行動できる青年」こそが、今の社会に求められている人材だと考えています。

「考える力」をつけるには

では、どうしたら「自分で考える力」が育つのでしょうか。その答えを解くカギの一つに「書く力をつけること」があります。頭で考えていることを紙に書くことで、もやもやしていることが整理できたり、新しい考えが生まれたりするところがあるでしょう。文章を書くという行為は、自分が考えようとしていたことや思っていたことを頭の外に出して見えるようにし、頭の中の思考を整理する手段です。

自分で考えて行動できる力

日本の企業が求める人材について、もつ一つの興味深い調査があります。経団連が毎年有名企業に対して行っている「採用選考基準」を尋ねるアンケートです。自社が新入社員を採用する時、最も重視する能力は何だと思えますか。語学力? 学業成績? 専門性? いえいえ、12年連続してダントツ1位となった能力は、「コミュニケーション能力」でした。およそ86%もの企業が重視した選考基準でした。「コミュニケーション能力とは、「みんなと仲良くおしゃべりができる力」ではありません。「相手の立場や言い分を理解した上で、自分自身の考えを伝えることができる能力」ということです。

英会話ができても…

英会話ができれば、外国の人と楽しくおしゃべりができます。しかし、「1111」の話題に対して自分自身の確かな考えを持っていなければ「考えを話す」ことはできません。「月ヶ瀬の魅力は何ですか?」「選挙権が18歳以上かどうか?」「選抜権が18歳以上かどうか?」どう思いますか? 「理由があれば、人をいじめてもいいと思いませんか?」…自分の考えを筋道立ててわかりやすく第三者の相手に説明する力が求められます。